

令和4年度

全国学力・学習状況調査の分析と考察

(令和4年11月)



松本市教育委員会
松本市校長会学力調査検討委員会

令和4年度 全国学力・学習状況調査の松本市における結果〔概要〕

調査概要

- ◇調査対象：小学校第6学年、中学校第3学年
- ◇調査実施日：令和4年4月19日（火曜日）
- ◇調査内容：① 教科に関する調査〔国語、算数・数学、理科〕
② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童質問紙、生徒質問紙）
- ◇今年度調査の特徴：ICTの使用場面を想定した問題など、学習や指導改善に役立つよう「学習指導上特に重視される点や身に付けるべき力を具体的に示すメッセージとなる問題」が出題されている。

教科に関する調査結果概要

- ◇平均正答率：平均正答率は、小学校国語において、全国（公立）の平均正答率よりやや高い状況である。他の教科は、全国（公立）の平均正答率とほぼ同程度である。
- ◇領域別状況：学習指導要領の領域等の平均正答率は、小学校国語「話すこと」、小学校算数「図形」、小学校理科「『エネルギー』を柱とする領域」、中学校国語「読むこと」、中学校数学「数と式」、中学校理科「『生命』を柱とする領域」において、全国の平均正答率と比べてやや高い状況である。他の領域は、全国の平均正答率とほぼ同程度である。
- ◇正答数の割合：正答数8割以上の児童生徒の割合は、小学校国語において、全国の割合と比べてやや高い状況であり、他の教科は、全国の割合とほぼ同程度である。また、正答数4割以下の児童生徒の割合は、すべての教科において、全国の割合と比べてやや低い状況である。正答数4割以下の児童生徒数が少ないことが、平均正答率を押し上げる主な要因になっていると考えられる。
- ◇問題形式：問題の形式は、選択式、短答式、記述式の3種類。記述式では、根拠を明らかにして記述したり、答えを導く方法を説明したりする問題が出題。小学校国語、小学校算数、小学校理科、中学校理科では、正答率が全国を大きく上回る問題も見られた。

- 各教科の「課題及び指導改善に向けて」では、特に課題と思われる問題を取り上げ、「課題が見られた問題について」「指導の改善・充実に向けて」の項目で、問題の趣旨や解答状況、誤答につながった要因、授業改善の具体的な方向を示しました。
- 表記については、長野県や全国の平均正答率、「知識・技能」「思考・判断・表現」に関わる内容等も参考にしながら、平均正答率7～8割程度を目安に「定着している」、「身に付いている」、5～6割程度を目安に「課題がある」としました。
- 生活習慣等に関する質問紙調査については、全体的な傾向や主な特徴等をまとめました。全国との比較を示す数値については、その差を「ポイント」という表現を使っています。（例：全国が30%、松本市40%の場合、松本市は全国を「10ポイント上回る」と表現しています）
- 本調査は、国語、算数・数学、理科の教科のみであるため、学習指導要領全体を網羅しているものではありません。また、本調査は、児童生徒が身に付けるべき学力の一部であることに留意ください。
- 文部科学省ホームページ（<https://www.mext.go.jp/>）のデータを利用して作成しています。また、一部の画像等は、令和4年4月19日に実施した「令和4年度全国学力・学習状況調査」の調査問題より引用しています。

問い合わせ先

【部課名】 松本市教育委員会 学校教育課 学校支援室

【連絡先】 電話：0263-33-4397 FAX：0263-34-3206

1 教科に関する調査結果

1(1) 小学校国語

<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

各設問に対する正答率と全国及び県平均正答率とを比べると、約9割の設問で全国及び県平均を上回っている。特に、必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことを中心に捉えることができている。

① 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめることに関しては、おおむね身に付いており、全国と比較するとやや上回っている。

調査問題 ① 四 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、でどのように話すかを書く問題 <課題及び指導改善に向けて1 参照>

15頁

話すこと
聞くこと

岡さんは、【話し合いの様子の一部】の で、「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで話そうとしています。あなたが岡さんなら、どのように話しますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

<条件>

- 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選び、その問題点についての解決方法を考えて書くこと。
- 【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはくくまない。

(正答例)

・ごみ拾いがよいと思います。続けることがむずかしい点については、当番を決めてごみを拾ったり、地いきの方にも呼びかけて協力してもらったりするとよいと思います。

② 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができることに関しては、かなり課題があるが、全国と比較するとやや上回っている。

調査問題 ③ 二 【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く問題 <課題及び指導改善に向けて2 参照>

16頁

書くこと

島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

<条件>

- 【文章2】のよさを書くこと。
- 【文章2】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

(正答例)

・わたしの文章のよさは、今年がんばりたいことを伝えるために、南さんの話や、さいばい委員の活動で反省したことを書いたり、運動委員として進めたい新たな活動を、最後のだん落に具体的に書いたりしたところです。

③ 漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみることに関しては、おおむね定着しているが、全国と比較するとやや下回っている。

調査問題 ③ 四 (一) から (二) に書き直した際、気を付けた内容として適切なものを選択する問題 <課題及び指導改善に向けて3 参照>

16頁

我が国の
言語文化
に関する
事項

島谷さんは、「六年生としてがんばりたいこと」を手紙で伝えたいと思い、(一)を書きました。そして、相手の読みやすさを考えて(二)のように書き直しました。島谷さんが書き直すときに気が付けた内容として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 とめやはねの書き方
- 2 文字の大きさ
- 3 文字と文字との間
- 4 行の中心

(正答)
4

1(2) 中学校国語

<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

各設問に対する正答率と全国及び県平均正答率とを比べると、約9割の設問で全国及び県平均を上回っている。特に、事象や行為、心情を表す語句について理解することができる。

①自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話すことに関しては、おおむね身に付いており、全国とほぼ同程度である。

調査問題 ① 三 スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く問題 <課題及び指導改善に向けて1 参照>

17頁

話す
こと

【二人の会話の一部】に——線部③「他の部分も話し方を工夫してみます。」とありますが、あなたならどの部分をどのように工夫して話しますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【川口さんのスピーチ】のどの部分をどのように工夫して話すのかについて、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに着目して具体的に書くこと。

条件2 条件1のように話す意図を書くこと。

(正答例)

・「オンラインであっても、相手が話したことに相づちを打ったり、相手の話を受けてさらに質問をしたりするように意識することが大事だったのです。」という部分が一番伝えたいことなので、他の部分よりも大きな声で話す。

②自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみることに関しては、課題があるが、全国と比較するとやや上回っている。

調査問題 ② 三 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える問題

書く
こと

小林さんは、上野さんと中村さんからの【コメントの一部】を踏まえて、で囲まれた「スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。」のすぐあとに、スマート農業の効果を書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 【農林水産省のウェブページにある資料の一部】から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、かぎカッコ(「」)でくくること。

条件2 「例えば、」に続けて書くこと。

(正答例)

・(例えば、)農林水産省のウェブページにある資料には、作業の自動化以外に「情報共有の簡易化」と「データの活用」が示されている。

③場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができるかどうかをみることに関しては、よく身に付いており、全国と比較するとやや上回っている。

調査問題 ③ 四 「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く問題 <課題及び指導改善に向けて2 参照>

18頁

読む
こと

——線部③「なるほど」とありますが、「おれ」は何を「なるほど」と思ったのですか。話の展開を取り上げて書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

(正答例)

・公園の噴水の広場で海にいるかのように遊ぶ「息子」と同じように、子供の頃の自分も想像力を働かせ、公園の水辺に海を見いだしていたこと。

1 (3) 小学校算数

<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

各設問に対する正答率と全国及び県平均正答率とを比べると、約6割の設問で全国及び県平均を上回っている。特に、図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解することができている。

① 示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できるかどうかをみることに限っては、かなり課題があり、全国と比較するとやや下回っている。

調査問題 1 (4) 85×21 の答えが 1470 より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ問題 <課題及び指導改善に向けて1 参照>

19頁

数と計算



85×21 の答えが 1470 より必ず大きくなることは、 85×21 をそのまま計算せずに、 85 と 21 をがい数にして計算してもわかります。

85×21 の答えが、 1470 より必ず大きくなるのがわかるためには、「 85 」と「 21 」をどのようがい数にして計算するとよいですか。

下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 85 を小さくみて 80 、 21 を小さくみて 20 として計算します。

イ 85 を小さくみて 80 、 21 を大きくみて 30 として計算します。

ウ 85 を大きくみて 90 、 21 を小さくみて 20 として計算します。

エ 85 を大きくみて 90 、 21 を大きくみて 30 として計算します。

(正答)
ア

② 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを式や言葉を用いて記述することに関しては、課題があるが、全国とほぼ同程度である。

調査問題 2 (4) 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを式や言葉を用いて記述する問題

20頁

変化と関係



ゆうか

ゆうかさんは、かいとさんが気づいたことをもとに、次のように考えました。

右の表のように、果汁の量が□倍になると、それにもなって飲み物の量も□倍になるのではないのでしょうか。このことを使えば、果汁の量が 180mL のときの飲み物の量を求めることができますね。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

果汁の量が 180mL のときの飲み物の量は、何 mL になりますか。

180mL が 30mL の何倍かをどのように求めたのかがわかるようにして、飲み物の量の求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

(正答例)

・【求め方】果じゅうの量は、 $180 \div 30 = 6$ で、6倍になっています。果じゅうの量が6倍になると飲み物の量も6倍になるので、飲み物の量は、 $100 \times 6 = 600$ で、 600mL になります。 【答え】 $600 (\text{mL})$

③ 正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、言葉と数を用いて記述することに関しては、おおむね身に付いており、全国と比較するとやや上回っている。

調査問題 4 (1) 示されたプログラムについて、正三角形をかくことができる正しいプログラムに書き直す問題

データの活用

はなこさんは、正三角形をかくためのプログラムをつくり、実行しました。

かこうとした正三角形をかくには、どちらの命令を直すとよいですか。下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。また、その選んだ命令を、言葉と数を使って、正しい命令に書き直しましょう。

ア 5cm の直線を引く。 イ 左に 60° 回転する。

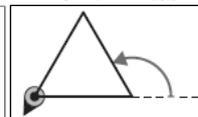
(正答例)

・【記号】イ 【正しい命令】左に 120° 回転する。

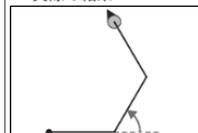
つくったプログラム

- ① 5cm の直線を引く。
- ↓
- ② 左に 60° 回転する。
- ↓
- ③ 5cm の直線を引く。
- ↓
- ④ 左に 60° 回転する。
- ↓
- ⑤ 5cm の直線を引く。

かこうとした正三角形



実際の結果



1(5) 小学校理科

<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

各設問に対する正答率と全国及び県平均正答率とを比べると、約9割の設問で全国及び県平均を上回っている。特に、問題を解決するために必要な観察の視点を基に、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことができている。

- ① 自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことに関しては、おおむね身に付いており、全国と比較するとやや上回っている。

調査問題 2(3) 水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見だし、問題に対するまとめを選ぶ問題

23頁

<課題及び指導改善に向けて1 参照>

「粒子」を柱とする領域

【結果】 〈水、砂糖水、食塩水を冷やした温度〉

	こおり始めた温度	すべてこおった温度
水	0℃	0℃
砂糖水	-1℃	-1℃
食塩水	-6℃	-8℃

【問題】砂糖水や食塩水がすべてこおる温度は、水がすべてこおる温度より低いのだろうか。

【予想】(はるとさんの予想)

砂糖水や食塩水は、こおるのが水の部分だから、水がすべてこおる温度と同じ0℃で、すべてこおると思う。



はるとさん

この【結果】からは、わたしの【予想】がちがっていることがわかったよ。【結果】の(ア)ということから考え直すと、【問題】に対するまとめは、(イ)といえるね。

はるとさんのことばの(ア)の中にあてはまるものを、下の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、(イ)の中にあてはまるものを、下の5から8までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- (ア) 1 水は0℃、砂糖水は-1℃、食塩水は-8℃ですべてこおった
2 水、砂糖水、食塩水は、冷やすとすべてこおった
3 すべてこおるまでの時間は、砂糖水より食塩水が長かった
4 水、砂糖水、食塩水は、0℃のときにすべてこおった
- (イ) 5 砂糖水や食塩水がすべてこおる温度は、水がすべてこおる温度と同じである
6 砂糖水や食塩水がすべてこおる温度は、水がすべてこおる温度より低い
7 食塩水がすべてこおる温度は、砂糖水がすべてこおる温度より低い
8 食塩水だけが、水がすべてこおる温度より低い温度ですべてこおる

(正答)
(ア) … 1
(イ) … 6

- ② 日光は直進することを理解しているかどうかをみることに限っては、かなり課題があるが、全国と比較するとやや上回っている。

調査問題 3(1) 光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ問題 <課題及び指導改善に向けて2 参照>

23頁

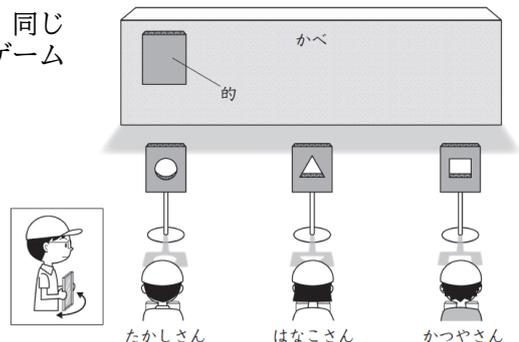
「エネルギー」を柱とする領域

たかしさんたちは、晴れた日に科学クラブで、同じ大きさの鏡を使い、日光をはね返して、的あてゲームをしました。

3人が右の図の位置で鏡の向きを変え、それぞれが日光をはね返して、3つの段ボールの板にあてたときに、かべの左にある的に、三角形の光をあてることができるのはだれですか。下の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 たかしさん
2 はなこさん
3 かつやさん
4 全員〈条件〉

(正答)
3



上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切りぬいた、鏡と同じ大きさの段ボールの板を置きました。

③ 予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して、問題を解決するまでの道筋を構想し、自分の考えをもつことに関しては、おおむね身に付いており、全国と比較するとやや上回っている。

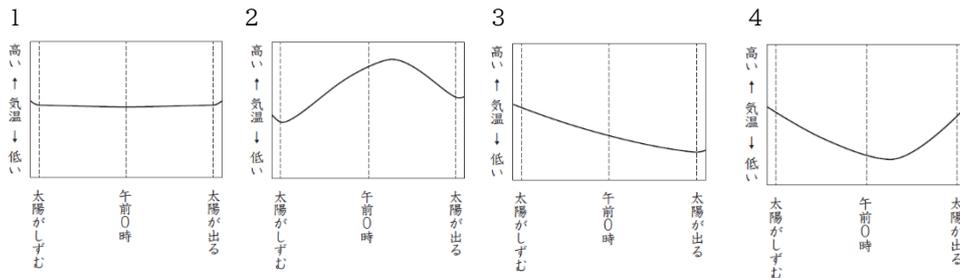
調査問題 4 (2) 夜の気温の変化について、他者の予想を基に、記録の結果を表したグラフを見通して選ぶ問題 <課題及び指導改善に向けて3 参照>

24頁

「地球」を柱とする領域

じろうさんの下線部の考えが正しいければ、冬の夜の気温は、どのようになると考えられますか。下の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

夜は、太陽が出ていないから、晴れていても、くもっていても、気温は変化しないと思うよ。



(正答) 1

1 (6) 中学校理科

<今回の調査結果の主な特徴と具体的な設問>

各設問に対する正答率と全国及び県平均正答率とを比べると、約8割の設問で全国及び県平均を上回っている。特に、モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画できるかどうかをみることができている。

① 継続的に記録した空の様子を撮影した画像と百葉箱の観測データを天気図に関連付けて、天気の変化を分析して解釈できるかどうかをみることに関しては、かなり課題があり、全国と比較するとやや下回っている。

調査問題 2 (2) 気圧、気温、湿度の変化をグラフから読み取り、雲の種類の変化と関連付けて、適切な天気図を選択する問題

25頁

<課題及び指導改善に向けて1 参照>

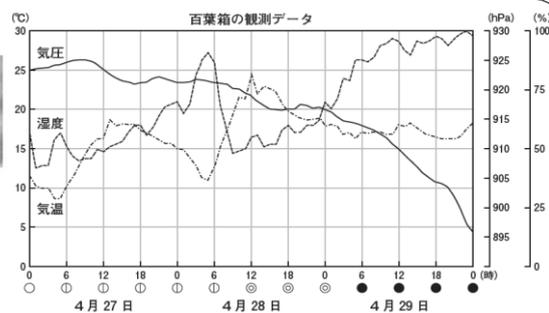
「地球」を柱とする領域

西の空の様子と観測データを関連付けて考察する場合

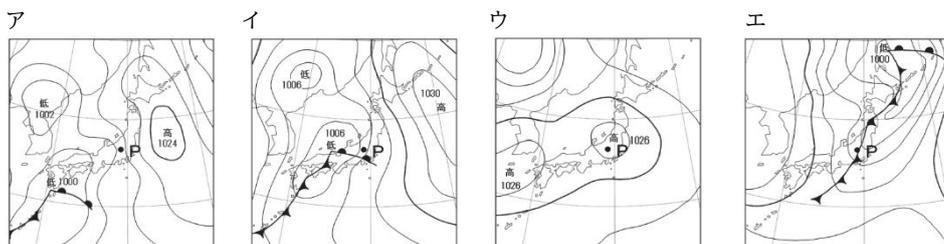


雲の種類が変化して、天気が崩れてきました。

観測データの気圧も3日間下がりに続いています。



4月29日12時の天気図として最も適切なものを、下のアからエまでのの中から1つ選びなさい。



(正答) 1

② 力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明することに関しては、かなり課題があるが、全国とほぼ同程度である。

調査問題 5 (1) おもりに働く重力とつり合う力の矢印を選択し、その力について説明する問題

「エネルギー」を柱とする領域

図2のように、ばねにのせたおもりが静止したとき、矢印で表したおもりに はたらく重力とつり合う力を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。 また、選んだ力の説明として適切なものを、下の力からケまでの中から1つ 選びなさい。

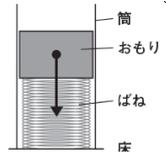
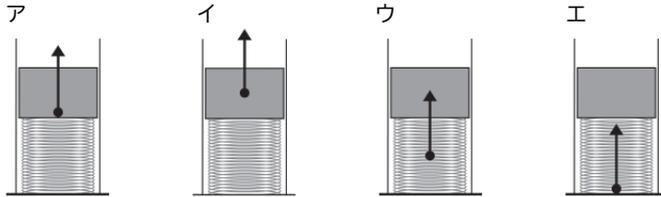


図2 おもりに はたらく重力



- カ おもりがばねを押す力
ク おもりが床を押す力
キ ばねがおもりを押す力
ケ 床がおもりを支える力

(正答)
つり合う力を表した矢印 ア
つり合う力の説明 キ

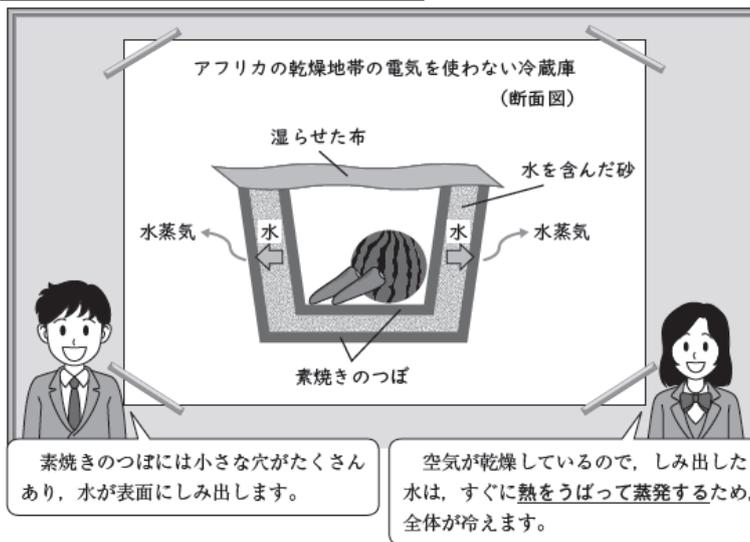
③ 液体が気体に変化することによって温度が下がる身近な事象を問うことで、状態変化に関する知識及び技能を活用することに関しては、かなり課題があり、全国と比較するとやや下回っている。

調査問題 7 (1) 液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する問題 <課題及び指導改善に向けて2 参照>

26頁

「粒子」を柱とする領域

グループ1 水が水蒸気になるときの温度変化



下線部としくみが同じ現象を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。



(正答)
ウ

2 児童・生徒質問紙調査結果

2(1) 国語と算数・数学に関する児童生徒の興味関心

<令和3年度と令和4年度の数值から>

- ・ 小学校国語及び算数の「～の勉強は大切だ」「～の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」との質問に肯定的な回答（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）をした児童の割合は、特に国語で増加しているが、「～の勉強が好き」「～の授業の内容はよく分かる」との質問に肯定的な回答をした児童の割合は、特に算数で減少している。
- ・ 中学校国語及び数学の「～の勉強が好き」「～の勉強は大切だ」「～の授業の内容はよく分かる」「～の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」との質問に肯定的な回答をした生徒の割合は、特に国語で増加している。
- ・ 4つすべての質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、中学校国語及び数学で増加しているが、小学校算数で減少している。

【凡例】

上段 ▶ [小学校質問紙調査にかかわる回答集計]
回答率 (0%・・・・100%)

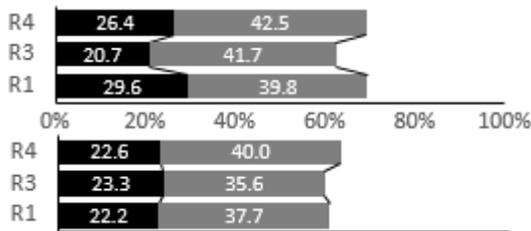
下段 ▶ [中学校質問紙調査にかかわる回答集計]

選択肢

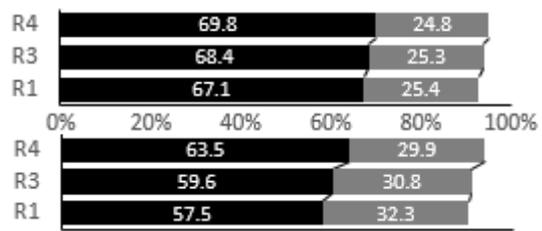
■ 当てはまる

■ どちらかといえば、当てはまる

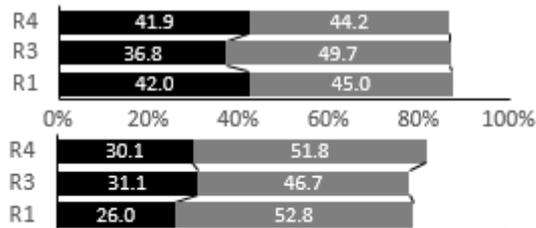
◇ 国語の勉強は好きですか



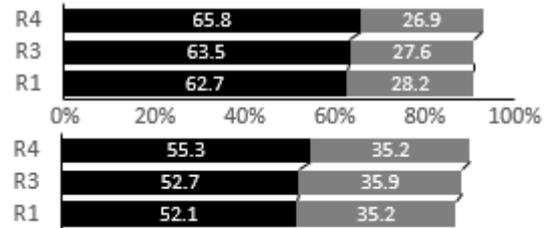
◇ 国語の勉強は大切だと思いますか



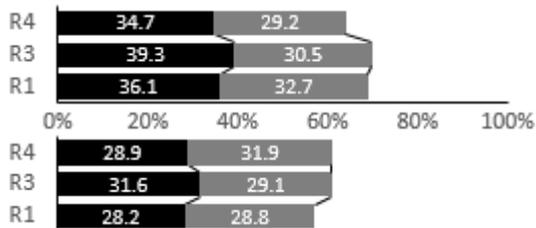
◇ 国語の授業の内容はよく分かりますか



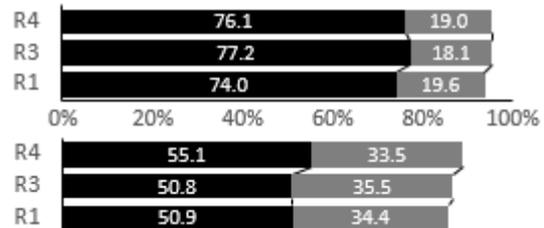
◇ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか



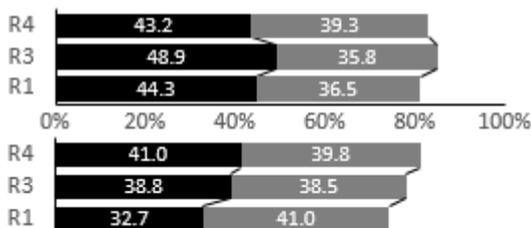
◇ 算数・数学の勉強は好きですか



◇ 算数・数学の勉強は大切だと思いますか



◇ 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか



◇ 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか



2(2) 理科に関する児童生徒の興味関心

<平成30年度と令和4年度の数值から>

- ・「～の勉強は大切だ」「～の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」との質問に肯定的な回答（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）をした児童生徒の割合は、中学校の生徒で増加しているが、「～の勉強が好き」「～の授業の内容はよく分かる」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校の児童で減少している。

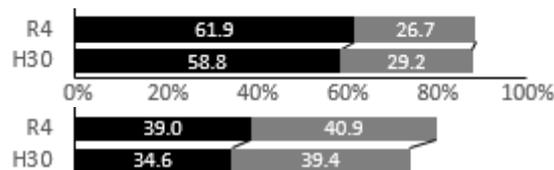
【凡例】 上段 ▶ [小学校質問紙調査にかかわる回答集計]
回答率 (0%・・・・100%)
下段 ▶ [中学校質問紙調査にかかわる回答集計]

選択肢 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

◇ 理科の勉強は好きですか



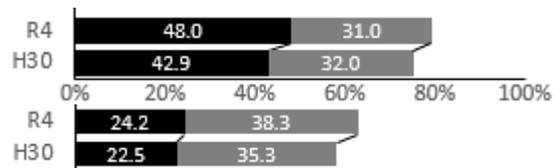
◇ 理科の勉強は大切だと思いますか



◇ 理科の授業の内容はよく分かりますか



◇ 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか



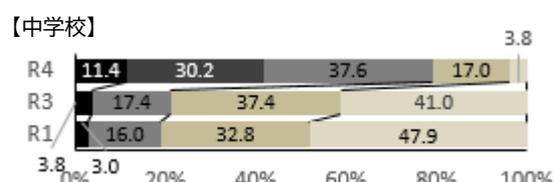
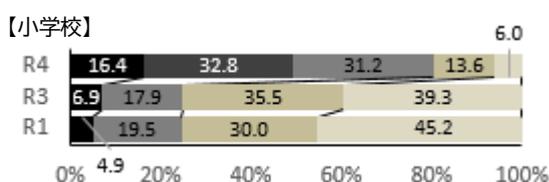
2(4) ICTを活用した学習状況

<令和3年度と令和4年度の数值から>

- ・児童生徒の授業でのPC・タブレットなどのICT機器の使用頻度は増加しており、「ほぼ毎日」と回答した児童生徒の割合は、約10ポイント増加している。
- ・「学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思うか」との質問に肯定的な回答（役に立つと思う・どちらかといえば、役に立つと思う）をした児童生徒の割合は90%を超えており、昨年度と同様に高い割合となっている。

◇ 前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

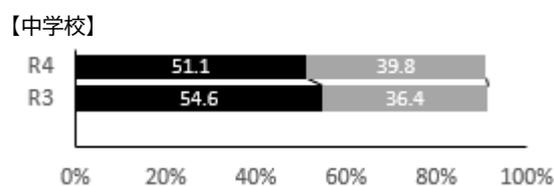
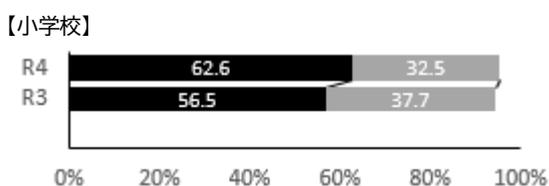
【凡例】 選択肢 ■ ほぼ毎日 ■ 週3回以上 ■ 週1回以上 ■ 月1回以上 ■ 月1回未満



※ R1 及び R3 においては、「ほぼ毎日」、「週1回以上」、「月1回以上」、「月1回未満」の選択肢であったため、「週3回以上」と回答した学校はない。

◇ 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか ※R1は、調査していない

【凡例】 選択肢 ■ 役に立つと思う ■ どちらかといえば、役に立つと思う



2(5) 特別活動・道徳における状況

<令和3年度と令和4年度の数値から>

- ・「学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」との質問に肯定的な回答（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）をした児童生徒の割合は、小学校の児童・中学校の生徒ともにやや減少している。
- ・「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校の児童で減少している。

◇ 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか

【凡例】 選択肢 当てはまる どちらかといえば、当てはまる

【小学校】



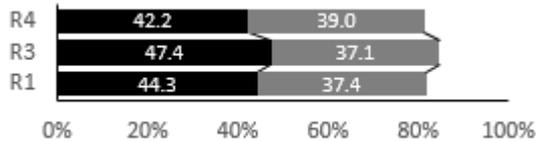
【中学校】



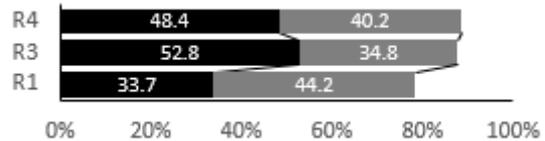
◇ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか

【凡例】 選択肢 当てはまる どちらかといえば、当てはまる

【小学校】



【中学校】



2(6) 総合的な学習の時間における状況

- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」との質問に肯定的な回答（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）をした児童生徒の割合は、小学校の児童で約70%、中学校の生徒で約65%であり、中学校の生徒で増加しているが、全国・長野県と比べるとやや少ない。特に、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、全国と比べて5～6ポイント程度開きがある。

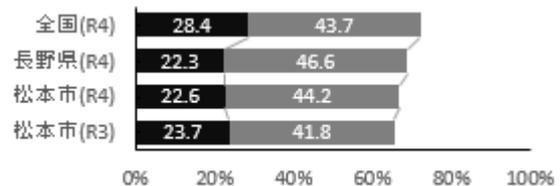
◇ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか

【凡例】 選択肢 当てはまる どちらかといえば、当てはまる

【小学校】



【中学校】



2(7) 自己肯定感等に関する状況

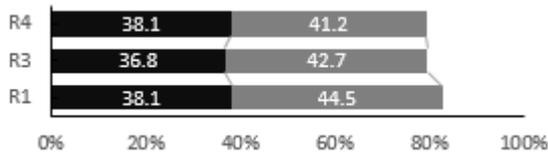
<令和3年度と令和4年度の数值から>

- ・「自分には、よいところがあると思いますか」「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」との質問に肯定的な回答（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）をした児童生徒の割合は、中学校の生徒で増加している。
- ・「自分でやると決めたことは、やり遂げるようとしていますか」「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校の児童で増加している。
- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校の児童・中学校の生徒ともに増加している。

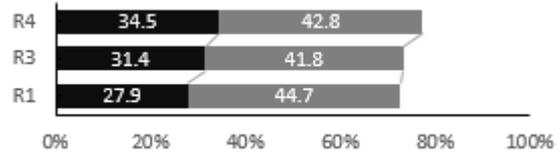
【凡例】 選択肢 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

◇ 自分には、よいところがあると思いますか

【小学校】

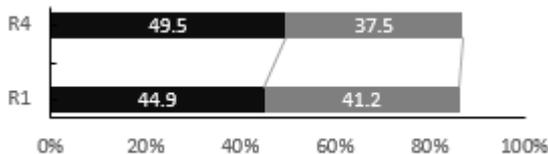


【中学校】

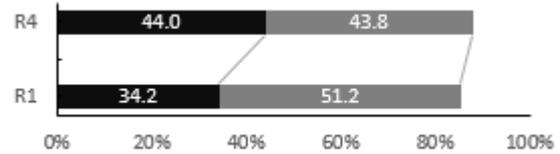


◇ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか ※R3は、調査していない

【小学校】

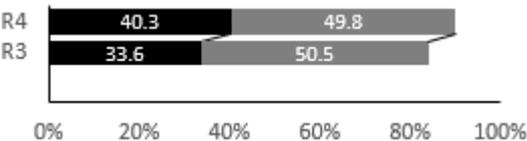


【中学校】

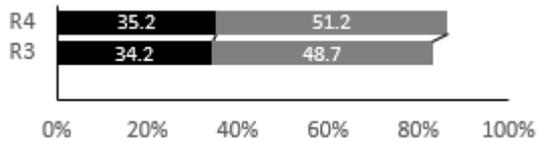


◇ 自分でやると決めたことは、やり遂げるようになっていますか ※R1は、調査していない

【小学校】



【中学校】



◇ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

【小学校】

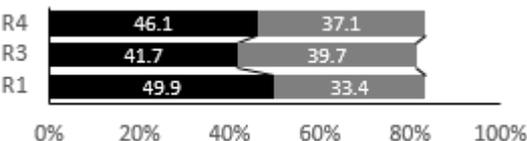


【中学校】



◇ 学校に行くのは楽しいと思いますか

【小学校】

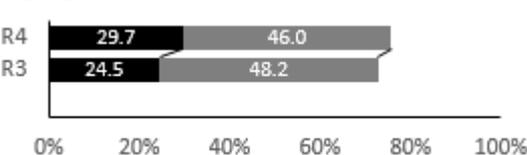


【中学校】

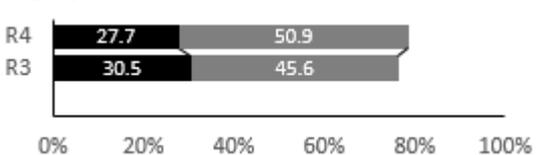


◇ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか ※R1は、調査していない

【小学校】



【中学校】



2(8) 主体的・対話的で深い学びの視点から

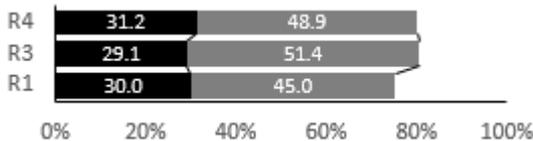
<令和3年度と令和4年度の数值から>

- ・「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」との質問に肯定的な回答（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）をした児童生徒の割合は、小学校の児童で約 80%、中学校の生徒で約 85%であり、小学校の児童・中学校の生徒ともにやや減少している。
- ・「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校の児童・中学校の生徒ともに約 80%であり、特に小学校の児童で増加している。
- ・「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校の児童で約 80%、中学校の生徒で約 75%であり、小学校の児童・中学校の生徒ともに増加している。
- ・「授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていましたか」との質問に肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小学校の児童で約 85%、中学校の生徒で約 80%であり、中学校の生徒で増加している。

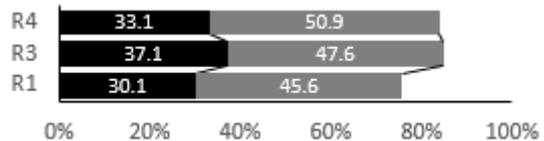
【凡例】 選択肢 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる

◇ 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか

【小学校】

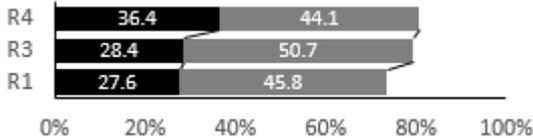


【中学校】

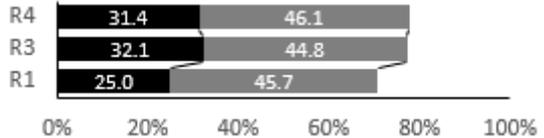


◇ 前年度までに受けた授業では、学級の友達と(生徒)の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか

【小学校】



【中学校】

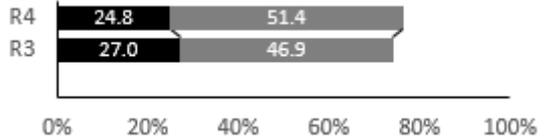


◇ 前年度までに受けた授業では、学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか

【小学校】



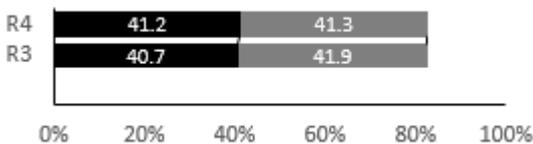
【中学校】



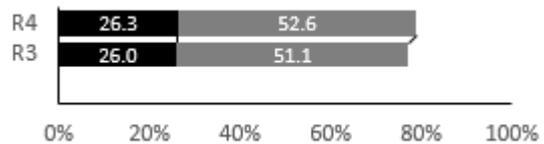
◇ 前年度までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていたと思いますか

※R1は、調査していない

【小学校】



【中学校】



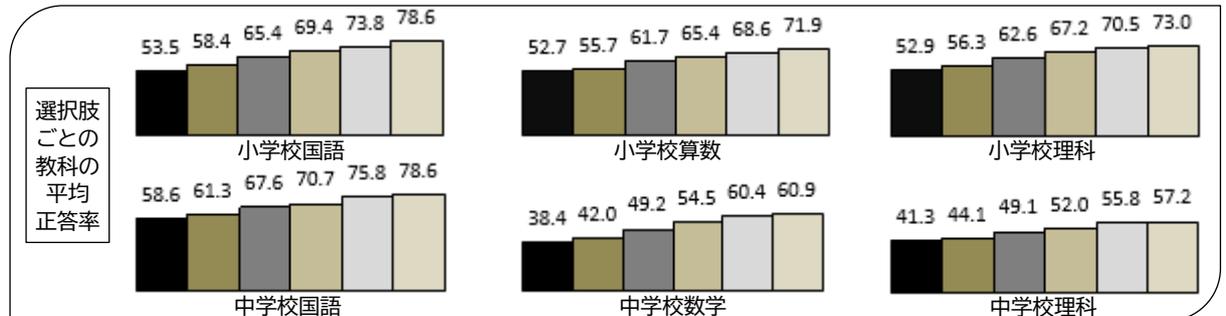
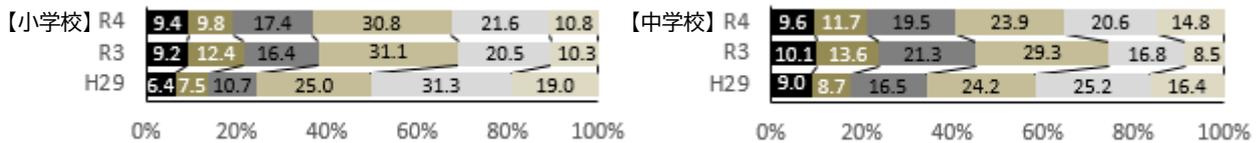
2(9) ゲームや SNS・動画視聴の状況

<令和3年度と令和4年度の数值から>

- ・1日当たりのゲームをしている時間は、特に中学校の生徒で減少している。また、1日当たりのSNSや動画視聴を1時間以上行っていると回答した小学校の児童の割合は約40%、中学校の生徒の割合は約65%である。児童生徒ともに、1日当たりのゲームの時間・SNS・動画視聴が長いほど、各教科の平均正答率が低い傾向がみられる。
- ・「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか」との質問に、肯定的な回答（きちんと守っている・だいたい守っている）をした児童生徒の割合は、特に小学校の児童で増加している。

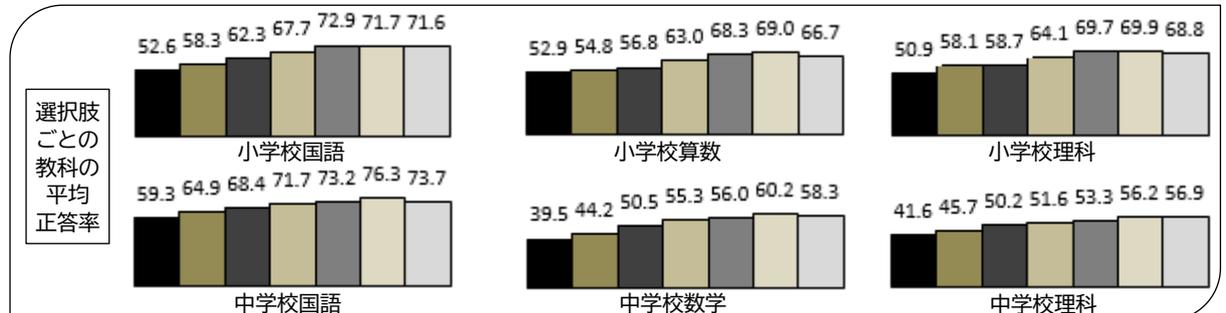
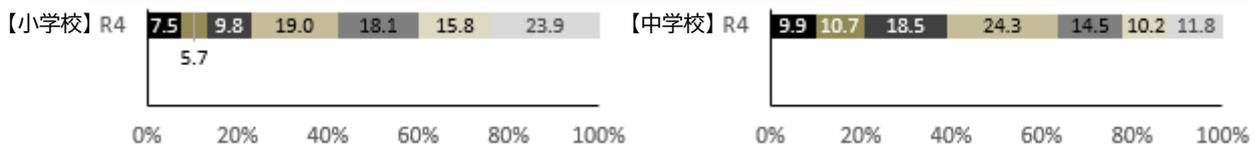
◇ 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか

【凡例】 選択肢 ■ 4時間以上 ■ 3時間以上、4時間より少ない ■ 2時間以上、3時間より少ない ■ 1時間以上、2時間より少ない ■ 1時間より少ない ■ 全くしない



◇ 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く) ※R1・2は、調査していない

【凡例】 選択肢 ■ 4時間以上 ■ 3時間以上、4時間より少ない ■ 2時間以上、3時間より少ない ■ 1時間以上、2時間より少ない ■ 30分以上、1時間より少ない ■ 30分より少ない ■ 携帯電話やスマートフォンを持っていない



◇ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか ※R1は、調査していない

【凡例】 選択肢 ■ きちんと守っている ■ だいたい守っている ■ あまり守っていない ■ 守っていない ■ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない ■ 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない

